



～ 茅高よ、世の荒波を分けて進め ～

茅ヶ崎高校定時制公式ホームページを閲覧いただきまして
誠にありがとうございます。



茅ヶ崎高等学校定時制 校長

為成 雄司

本校は、昭和 23 年4月に茅ヶ崎市立茅ヶ崎高等学校として開校し、昭和 26 年に茅ヶ崎市から神奈川県に移管され、現在の神奈川県立茅ヶ崎高等学校となりました。開校初年度は定時制のみでスタートし、翌年に全日制が併置されました。これまで全定合わせて2万5千人を超える卒業生が本校で学び、各界で活躍しています。本校の校章には、「茅高よ、世の荒波を分けて進め」という願いがこめられており、その精神は本校生徒・卒業生の間に、現在も脈々と受け継がれています。

さて、茅ヶ崎高等学校定時制への進学をお考えの皆さん、夜間定時制で学ぶことについてイメージは沸いていますか。夕方の 5 時過ぎに登校し、夜の 10 時前には下校するという生活です。通常は 4 年かけて卒業を目指しますが、通信制の授業を取ることで、3年間で卒業することもできます。本校定時制に限らず、高校には様々な特徴があります。まずは、学校説明会等に参加して詳しい情報を入手し、学校見学をして自分に合った学校かどうか確かめてください。

全国的に夜間定時制で学ぶ生徒は減少を続けており、神奈川県も例外ではありません。県立高校改革のⅢ期計画において茅ヶ崎高校定時制は令和 7 年度の入学者選抜をもって募集停止となることが発表されました。つまり、今回の入試が募集停止前の最後の入試となります。入学された場合は、80 年近い伝統の大きな区切りとなる学年になります。

高校時代は人生の中で将来に向けて大きく飛躍する準備期間となります。授業は言うまでもありませんが、部活動や行事など茅ヶ崎高校定時制での様々な“学び”を通して、自己を成長させ、新しい社会の担い手として活躍してくれることを心より期待しています。